

KANEFU S A

兼房株式会社

証券コード 5984

第73期 株主・投資家の皆様へ

中間報告書

2020年4月1日 ▶ 2020年9月30日





株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに当社第73期上半期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）における営業の概況ならびに決算の内容等につきましてご報告申し上げます。
株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2020年12月

代表取締役 社長執行役員

渡邊 将人

営業の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、各国とも景気は極めて厳しい状況で推移しました。また、感染者数が再拡大する地域が出てくる等、依然先行き不透明な状況が続くと見込まれます。一方、わが国経済におきましては、輸出や個人消費を中心に停滞しているものの、自動車業界など一部の業種では感染拡大の防止策を講じつつ、経済活動を段階的に引き上げる動きも見られます。

当社グループにおいて、企業活動が制限された状況の下、生産性の維持、お客様とのWeb会議の開催、訪問活動の再開など営業活動に取り組みましたが、世界規模での景気落ち込みに伴い、当社が販売する工業用

刃物の需要も落ち込み、前年同期を大きく下回る結果となりました。

売上高

国内における売上は、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに前年同期から減少しました。また、海外での売上も、中国および米国向けを中心に減少し、当第2四半期連結累計期間の売上高は74億6千4百万円（前年同期比22.1%減）となりました。

利益

利益面につきましては、売上高の減少が大きく影響し、営業損失は2億3千9百万円（前年同期は7億3千1百万円の営業利益）、営業外収益と

して助成金収入を1億3千万円計上したものの、為替差損を1億3千3百万円計上したことから2億4千4百万円の経常損失（前年同期は6億1千9百万円の経常利益）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億8千7百万円（前年同期は4億1千6百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

通期の見通し

通期の連結業績予想につきましては、連結売上高150億円、営業損失3億5千万円、経常損失3億5千万円、親会社株主に帰属する当期純損失5億円を見込んでおります。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

単位:千円

科目	期別	当第2四半期末	前期末
		2020年9月30日現在	2020年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産		12,522,851	13,275,985
固定資産		14,510,789	14,944,510
資産合計		27,033,640	28,220,495
(負債の部)			
流動負債		3,067,359	3,793,473
固定負債		701,030	679,527
負債合計		3,768,390	4,473,000
(純資産の部)			
株主資本		22,801,057	23,320,570
その他の包括利益累計額		464,192	426,924
純資産合計		23,265,250	23,747,494
負債純資産合計		27,033,640	28,220,495

総資産

流動資産は125億2千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億5千3百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が3億8千万円増加したものの、受取手形及び売掛金が7億9千8百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は145億1千万円となり、前連結会計年度末に比べ4億3千3百万円減少いたしました。これは投資その他の資産が1億5千7百万円増加したものの、有形固定資産が前連結会計年度末に比べ5億7千2百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は270億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億8千6百万円減少いたしました。

負債

流動負債は30億6千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億2千6百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が2億9千7百万円減少し、電子記録債務が1億7千1百万円減少したことなどによるものであります。固定負債は7億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ2千1百万円増加いたしました。これは退職給付に係る負債が2千5百万円減少したものの、固定負債その他が4千7百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は37億6千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億4百万円減少いたしました。

純資産

純資産合計は232億6千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億8千2百万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が1億4千9百万円増加したものの、利益剰余金が5億1千9百万円減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は86.1%（前連結会計年度末は84.1%）となりました。

連結損益計算書(要旨)

単位:千円

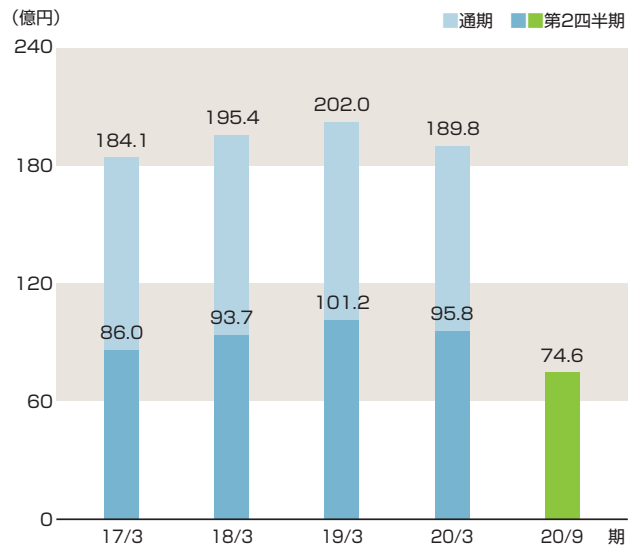
科目	期別	当第2四半期	前第2四半期
		2020年4月1日から 2020年9月30日まで	2019年4月1日から 2019年9月30日まで
売上高		7,464,992	9,584,184
売上原価		5,597,583	6,409,395
売上総利益		1,867,409	3,174,788
販売費及び一般管理費		2,107,042	2,443,781
営業利益又は営業損失(△)		△239,632	731,006
営業外収益		150,088	39,023
営業外費用		155,082	151,013
経常利益又は経常損失(△)		△244,626	619,016
特別利益		326	1,591
特別損失		2,131	19,070
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)		△246,431	601,538
法人税等		141,027	185,029
四半期純利益又は四半期純損失(△)		△387,459	416,509
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)		△387,459	416,509

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

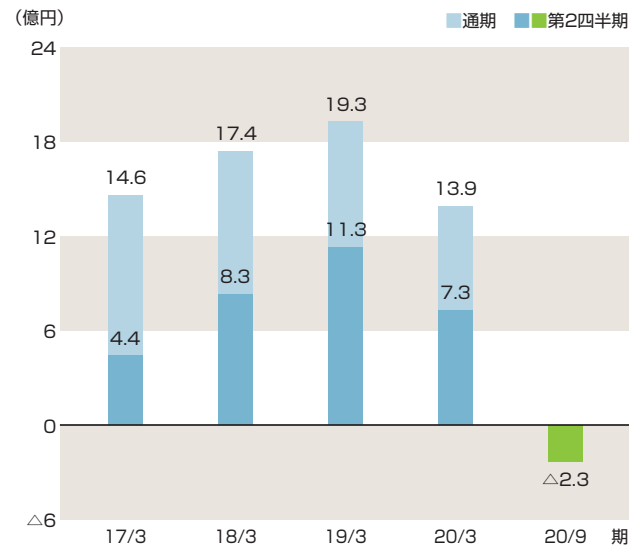
単位:千円

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期
		2020年4月1日から 2020年9月30日まで	2019年4月1日から 2019年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,079,973	1,277,907
投資活動によるキャッシュ・フロー		△514,858	△1,445,030
財務活動によるキャッシュ・フロー		△155,342	△327,386
現金及び現金同等物に係る換算差額		△29,214	△79,806
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		380,558	△574,316
現金及び現金同等物の期首残高		3,104,511	4,368,508
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		—	20,166
現金及び現金同等物の四半期末残高		3,485,070	3,814,358

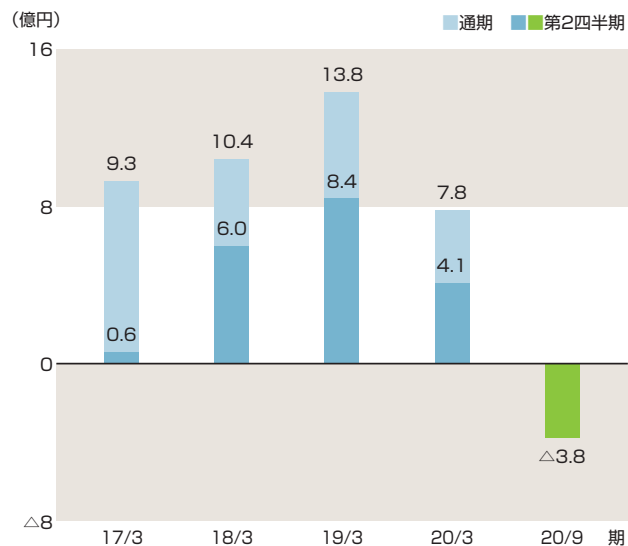
■売上高



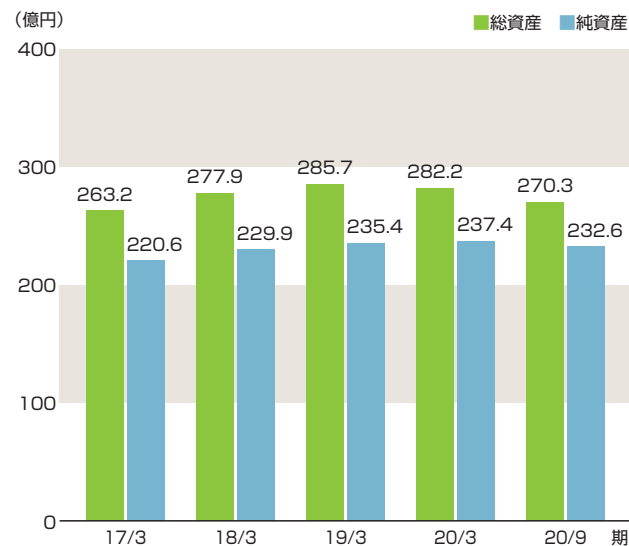
■営業利益又は営業損失 (△)



■親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)



■総資産・純資産



TOPICS

2020年版経済産業省「グローバルニッチトップ企業100選」に認定されました

世界市場のニッチ分野で勝ち抜いている企業や、国際情勢の変化の中でサプライチェーン上の重要性を増している部素材等の事業を有する優良企業が「経済産業省グローバルニッチトップ企業100選」として選定されており、当社も「**Ferro Max コールドソー**(**金属切断用超硬丸鋸**)」を対象として認定されました。



Ferro Max コールドソー

当社は、1985年に業界初となる使い切りタイプの金属切断用超硬丸鋸(Ferro Max コールドソー)を開発しました。当時、世界で最も薄く、歩留まり向上や切削動力削減に貢献しました。また、従来の再研磨タイプは研磨回数を重ねるごとに丸鋸の寿命が短くなる場合がありますが、使い切りタイプは安定した品質で長く使えることから、製造現場で工具を交換する頻度を減らし生産性向上に寄与できたこと、再研磨タイプでは困難であった個別設計が可能となり、お客様のニーズにきめ細かく対応できるようになったことなどから、Ferro Max コールドソーは好評を博しました。

さらに、当社は、社内切断テストの過程で得たノウハウを活かしFerro Max コールドソーの「切断機」も開発しました。「Ferro Max コールドソー」と「切断機」を合わせた切断システムは、切断の精度とスピードを飛躍的に向上させることができ、企業規模を問わず幅広い業種で採用され、今でも世界各地で使われています。



Information

会社概要 (2020年9月30日現在)

商号	兼房株式会社 KANEFUSA CORPORATION	
設立	1948年11月25日	
資本金	21億4,250万円	
本社所在地	愛知県丹羽郡大口町中小口一丁目1番地	
従業員数	749名	
主要な事業内容	工業用機械刃物・工具・工作機械・機械部品の製造販売。 ならびに、関連する事業に対する投融資及び技術供与。	
主要な事業所	本社・工場	愛知県丹羽郡大口町 支社 中部 関東 関西 営業所 札幌 仙台 広島 高松 福岡
子会社	PT.カネフサインドネシア カネフサヨーロッパB.V. カネフサインディア Pvt.Ltd. カネフサメキシコ S.A. DE C.V. カネフサベトナムマニュファクチャリングCO.,LTD.	カネフサUSA,INC. 昆山兼房高科技刀具有限公司 カネフサド ブラジル LTDA. カネフサベトナムCO.,LTD. 大口サービス株式会社

役員 (2020年9月30日現在)

代表取締役 社長執行役員	渡邊 将人	取締役 (監査等委員)	脇田 英嗣
取締役 専務執行役員	太田 正志	社外取締役 (監査等委員)	小池 徹
取締役 常務執行役員	山川 寿康	社外取締役 (監査等委員)	山崎 裕司
取締役 常務執行役員	磯谷 岳摩		
取締役 常務執行役員	佐築 賢治		

株式の状況 (2020年9月30日現在)

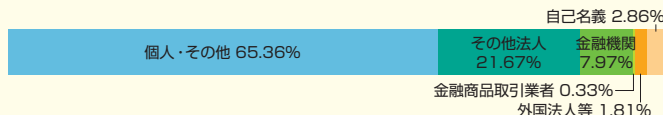
発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式の総数	14,310,000株
株主数	2,134名

■大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
大口興産株式会社	2,299	16.5
渡邊 裕子	1,306	9.3
太田 万佐子	1,267	9.1
兼房従業員持株会	774	5.5
渡邊 浩	653	4.7
渡邊 美奈子	593	4.2
渡邊 将人	426	3.0
太田 正志	403	2.9
日本スタートラスト信託銀行株式会社	273	1.9
渡邊 久修	215	1.5

(注) 持株比率は自己株式 (409千株) を控除して計算しております。

■所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

株主確定基準日 (1) 定時株主総会・期末配当 3月31日
(2) 中間配当を実施する場合 9月30日
(3) その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を設定いたします。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

お問合せ先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
〈電話〉0120-232-711 (通話料無料)
〈郵送先〉〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

単元株式数 100株

公告方法 当社のホームページに掲載します。
<http://www.kanefusa.co.jp/koukoku.html>
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

(ご注意)

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、日本証券代行株式会社が口座管理機関となっておりますので、以下記載の特別口座の口座管理機関に、お問合せください。

特別口座の口座管理機関 日本証券代行株式会社
連絡先 〒168-8620
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部
電話 0120-707-843(通話料無料)

【株式に関する「マイナンバー制度」のご案内】
市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

兼房株式会社

